

第 6 回東浦町総合計画審議会 会議録

会 議 名	第 6 回東浦町総合計画審議会	
開 催 日 時	平成 30 年 10 月 10 日（水）午後 1 時 30 分から	
開 催 場 所	勤労福社会館 会議室 1	
出 席 者	委員	<p>会長 千頭 聡</p> <p>委員</p> <p>山下 享司、米村 佳代子、久米 賢治、竹田 正巳、 加藤 龍雄、神谷 英一、久米 弘、杉浦 義治、 鈴木 鑑一、田島 由美子、都筑 一男、外山 淳恵、 成田 賢治、成田 盛雄、二宮 立美、間瀬 宗則、 水野 博隆、水尾 衣里、戸張 里美、野村 雅廣、 米島 竜雄</p>
	事務局	<p>町長、教育長、企画政策部長、総務部長、健康福祉部 長、生活経済部長、建設部長、会計管理者、教育部長、 建設部次長、建設部技監、企画政策課長、都市計画課 長、企画政策課主幹、企画政策課課長補佐兼企画政策 係長、企画政策課主査、企画政策課主事 2 名、第 6 次 東浦町総合計画策定支援業務受託業者 2 名</p>
議 題 (公開又は非公開の別)	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="padding-left: 2em;">第 6 次東浦町総合計画（案）について</p> <p>3 第 6 次東浦町総合計画の答申について</p> <p>4 その他</p>	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—	

傍聴者の数	3名
審議内容 (概要)	議題の審議内容は、別紙のとおり
備考	

【議事要約】

開会

事務局	(開会、資料の確認)
-----	------------

1. 町長あいさつ

町長	<p>審議会も第6回になるが、毎回の熱心な議論をしていただき、ありがたいと感じている。</p> <p>今回はパブリック・コメント等でいただいた意見をもとに、修正しているものを提示している。また、言葉が練れていない部分についても修正を行っている。</p> <p>真摯な議論を妨げるつもりはないが、今回でまとめていただければと思う。よろしくお願ひしたい。</p>
----	---

2. 議事

第6次東浦町総合計画（案）について

事務局	(資料1・2・3についての説明)
会長	説明いただいた内容に意見はあるか。
委員	<p>資料2のP2、赤字修正の4行について、最も行数の多い修正だが、資料1のP1のNo.3人口推計についてのタウンミーティングなどを踏まえて町の考え方が要約されている。人口推計についてはこれで充足されているのではないかと思う。</p> <p>この赤字の4行が、資料3のP14のグラフの解説と補強となっている。ただ、やや文章的に重複する部分が生じているのと、改行の必要性がある部分が見当たる。例えば、P2の下から7行目の「医療、介護サービスの需要」に関しては少し人口問題と異なるため、改行してアクセントをつけてはどうか。重複する文章については、赤字修正の4行と、その後の段落における「生産年齢人口や年少人口の減少」に関する記述である。思い切って、赤字修正の後の2～4行目を削除して、2行目に「～減少します。老年人口は～」と繋げた方がよいのではないかと思う。</p> <p>この、私が重複すると考える部分を残した意図はあるか。</p>
事務局	<p>確かに、当たり前の表現が繰り返されているのではないかと感じられることもある。まちづくりワークショップ、タウンミーティングを通して将来の人口減少自体は住民にも理解されている。ただ、なぜ一度人口減少が始まるとなかなか減少が止まらないのか、子育て施策によって人口が回復するのではないかという意見も出される。しかし、分母となる年少人口・生産年齢</p>

	<p>人口が減ることで人口が増えないことをこれでも平易に表現したと考えている。</p> <p>赤字修正部分は、「これまでの状況」、下の部分は「これから」の状況を説明している。</p>
委員	<p>赤字修正後の部分は当初からの説明の補強となると考えている。そうであると、重複すると考えている。整理した方が理解されやすいと思う。</p>
会長	<p>最終的には議会での議決を経て策定される。答申いただいたものを1字1句そのまま印刷するわけではない。受け止め方は事務局におまかせいただくようお願いしたい。その他にあるか。</p>
委員	<p>冗長的な表現であると言われたが、年齢が具体的に表現されており丁寧な説明であると思う。</p>
委員	<p>「東浦町は～」から始まる具体的な年齢を含んだその部分はそのままよいと思う。大事な文章だと思う。</p> <p>65歳以上と追記してもよいと思う。</p>
会長	<p>老年人口とあるが、そこにも具体的な年齢をいれるとよいのかもしれない。</p>
委員	<p>資料1、2に関して、第5回東浦町総合計画審議会に対する町の考え方について郵送されていたが、それに対する質疑は可能か。</p>
会長	<p>本日は総合計画案を了解いただくのが趣旨である。ご発言の必要があればどうぞ。</p>
委員	<p>資料1のNo.4におけるbの回答が的確でないと感じる。大地震等によって、下水管が破裂した時に流せなくなるのではという問いに対して、豪雨等による汚水の逆流とあり、私は理解できない。</p> <p>それと、No.7のフィックスマイストリートの考え方について、問題を共有するだけではいけないと思う。</p> <p>フィックスマイストリートのようなシステムが活用されていないのであれば、施設が適正に管理されているということである。行政の考え方がよくわからない。</p>
会長	<p>資料3についてもどうぞ。</p>
委員	<p>資料3の土地利用計画について、まず、東浦駅東の臨海部の緑地が削除されたことについては、太陽光が設置されたことによって、総合計画に合わないため取り扱わないとされている。なぜ総合計画に合わない土地利用計画がなされたのかという質</p>

	<p>問である。地域の方々の憩いの場として第5次東浦町総合計画では扱われていた。暫定的にしても、それに対して太陽光を設置したため、扱いを消すというのはいかがなものか。場当たりに土地利用計画を変えていくことがあり得るということを理解すればよいのか。</p> <p>商業系については、工業系を残すことによってそれらの従業員のための利便性を考えて、東浦駅東に隣接して商業系を塗ったということだが、森岡駅の東はなぜ塗らなかったのか。統一性のない土地利用構想図になっているのではないか。</p> <p>全体的に言えることであるが、基本的な基本構想や基本計画を受けた部門別計画となっていない。条件付きの市街地整備にも関わらず、それに関して問題提起されていない。</p> <p>さらには、公園緑地を統廃合するとあるが、現在の東浦町をコンパクトなまちづくりの指標で評価した時に、ふれあい公園が重要であると記載があるにも関わらず統廃合するのはいかがなものか。</p> <p>前回も申しあげたのだが、行政の進め方として、行政サービスの適正な水準を維持するとあるが、人口減少を抑えていきたいという中で、過剰なサービスは水準を落としていくということか。隣接市町との競争はするなということであるが、あまりにもリスクが大きいのではないか。最低でも現状を維持していくのが当たり前なのではないか。今のサービス水準ですら隣接市町に負けているため、東浦町は「住みよいまち」とは思われていない。これでよいのか。</p> <p>話が前後するが、部門別の商業振興の現状3について、何を言おうとしているのか理解できない。コンパクトなまちづくりを進めていく中で、現状を維持することが重要であり、さらに駅周辺に何を創設しようとしているのかわからない。</p>
会長	個々のところは部会で議論されてきたものと理解している。
委員	議論はしてきた。最終的な意見として答申する際には、私の意見は認められない。いつまでも平行線である。議事録に残していただければと思う。
会長	<p>審議会の議事録は公開される。多様な意見があってしかるべきである。最終成果物だけでなく、審議会の中で多様な立場、視点から議論していただいたことが大切である。</p> <p>全体としては総意としてまとめていく必要がある。他に意見はあるか。</p>

委員	<p>行政サービスについて述べる。人口問題を主張してきたが、4年ほど前に日本創成会議で出された2040年の市町村別推計値を見ると、東海市、阿久比町、刈谷市は現在よりも微減であるとされていた。しかし、今回の想定では微増に変わっている。大府市は増加である。それに反して、知多市、半田市、東浦町はかなり減少が大きくなっている。当時、東浦町は4.5%くらいのマイナスであったが、4年後の今日の想定では12%の減少が想定されている。最も減少幅が大きい。</p> <p>人口減は働く人が少なくなる。税収も減る。行政職員も減るので行政サービスの水準も低下してしまう。これは必然的である。</p> <p>総務省がAIを活用することによって職員数の減少をカバーするという研究をしている。平時はよいかもしれないが、非常時はとても対応できないと思う。マンパワーが足りず難しいことであると認識している。</p>
会長	<p>実際のまちづくりの現場で、特にコミュニティの現場で関わっている方からみてどうなのかご意見を頂戴したい。</p>
委員	<p>第5次東浦町総合計画の策定時はワークショップを部会で3回実施し、その3回は好きな部会で検討を進めた。今回はワークショップが6回あり、職員半数、地域から半数参加した。この経緯もあり、今回は貴重なものがあったと考えている。</p> <p>コミュニティに関しては、できたものに対して、現実でも様々な事を進めている。</p> <p>公園はコミュニティの核である。しかし、ボールが飛んできて危ないなどの意見もあり、地域からの課題は多い。</p> <p>現実にはそれでも進めていかなければならない。人口減少は当たり前で、コミュニティや子ども会の役員の担い手が減少している。これが続くとコミュニティが崩壊する。これにより地域の安心、安全が守られない。行政が決めた事を実践できなくなる。いかに行政も地域も実際に動いていく人材を確保していくのか。この現実的な問題を考える必要がある。私は地域と協力してこの問題にあたっていきたい。そういう意味では、細かい部分への指摘はなく、今後どのように実践していくのが大切であると考えている。</p>
委員	<p>今回、修正を確認してみると、言葉がやわらかくなり、よくなってきたと思う。行政側から地域が抱える課題を明確に認識し、前例に囚われず必要な施策を行うという的確な文章をいた</p>

	<p>だいた。地元への誇りや愛着といった私達に身近な言葉も入れていただいている。</p> <p>積極的に地域に出向いて住民と一緒に考えるという姿勢も明確にいただいております、温かい表現になっているためよいと思う。</p>
会長	<p>コミュニティからお越しいただいている方で他に意見はあるか。</p>
委員	<p>全般的にみて、町が計画を立てる際には、このような文章に成らざるを得ないことは承知している。</p> <p>ポイントは、例えば、資料3のP129の住民の役割は真つ当なことであるが、実際にどのように認識して実施していくのかが重要な問題である。そうでなければ、絵に描いた餅である。</p> <p>地域の活動は参加者が少ない。また、無報酬で動いている人が多い。財政が苦しい面もあるが、なにかインセンティブがあればと思う。私達の仕事は計画を具体的な行動につなげていくことであると考えており、そのための援助をお願いしたい。</p>
委員	<p>東浦町まちづくりワークショップに5回参加した。他の委員が言われたとおり活発な議論ではあったが、人数的にはもっと多くてよいと感じた。</p> <p>私は緒川新田地区に住んでおり、緒川新田地区が少し置き去りにされている感もあり、審議会の中でバランスよいまちの発展ということを発言させていただいた。巽ヶ丘駅周辺についても認識をいただいてバランスのよいものに近づいてきたと感じる。</p> <p>現実をみると、進む方向はよいと思うがまだまだである。コミュニティを支える人をどう作っていくかが一番の課題である。第6次東浦町総合計画の期間中に解消をして行く必要がある。</p>
委員	<p>各区長が言われるように、人づくりが重要である。どう地域の方に協力してもらうかは私も悩んでいる。総合計画の中で目指す姿は十分に示されていると思う。基本計画、実施計画でよりよい方向に修正していくのが重要である。20年後を正確につかむのは難しいが、ただ、区長の立場としては、今の状態を打破していこうという思いがある。</p> <p>行政サービスには感謝をしているが、住民にはやってもらってあたりまえという考え方がいる。私は最初の助けはするが基本的には自分で行動して下さいということにしている。町の方も住民が自ら行動してやっていくという考え方をもちよう</p>

	<p>に教育していかなければならない。住民に厳しいことを課すようだが、重要である。</p>
委員	<p>あとは人であるなと思う。何でも人にやってもらうという意識が多い中、例えば、消火器・消火栓が錆びているのをきれいにしたい事を回覧板で回すと、手を上げてくれる人々がいた。このような人もまだいる。</p> <p>10月28日に愛知県と東浦町が合同で行う津波・地震防災訓練があるが、せっかくの機会なので人を集めたいというと、70人くらいの人々が集まってくれた。一番のネックは働いている人が多いことと、このような活動を通して楽しいことがあるとよいと思う。個人情報への壁もあるが、情報が広がっていかない。多くの住民の方々に見ていただくことで、フィードバックをいただければと思う。</p>
委員	<p>網羅的にすべてが含まれている計画になっている。立派なものを作れているが、これをいかに住民の方々に共有し、共感を得て、町の姿勢を伝えていくのかが、次の課題である。</p> <p>一つひとつの目標を区長の指揮のもとにどう実現していくかを考えていく必要がある。一つでも達成できればと思う。</p> <p>区長さんたちの次の世代をどう確保していくのかも、行政が手伝っていく必要があると思う。</p> <p>やれるところからやっていき、成果を出して行ってほしい。</p>
会長	<p>第6次東浦町総合計画の周知、広報、PRについては事務局としてどう考えているか。</p>
事務局	<p>現状では、総合計画に関するタウンミーティングで策定経過は説明してきた。もっと具体的な内容を示すべきではといった意見もいただいた。</p> <p>今後は、第6次東浦町総合計画をホームページに掲載するとともに、広報ひがしうらの2月号か3月号にも掲載する予定である。</p> <p>また、各地区のコミュニティセンターにも閲覧できるようにする予定である。</p> <p>概要版も作成する予定で、できるだけ多くの方々に見ていただけるように周知を進めていきたい。</p>
会長	<p>内容がよろしければ町長に答申していく。個々の分野では、今後も議論は必要であると思うが、全体として決めていく必要がある。</p> <p>審議会として答申させていただくことに関していかがである</p>

	か。
(一同)	異議なし。
会長	この案をもって町長へ答申したいと思う。 答申案について内容に関する意見はあるか。
委員	資料3のP95の空き家対策について「空き家の予備軍である高齢者」は適切ではないのではないかと思う。
会長	表現の仕方は変更する。 それでは、この文章をもって町長に答申させていただく。

3 第6次東浦町総合計画の答申について

	(会長より町長へ答申)
--	-------------

4 その他

会長	<p>ありがとうございました。今回は5年おきの基本計画なので、5年間でやるべきことを記載する。平成31年4月1日から基本計画をどう推進していくかは、まったなしの状況で、計画の進行管理が重要である。今、事務事業のレベルでは進行管理をしている。各分野の大きな目標に対してどうであったか一年を振り返って評価してほしい。これがあると、審議会の当初にあった様な第5次東浦町総合計画の評価はどうなっているのかといった問題に、より迅速に対応できる。毎年の進行管理が大切である。</p> <p>5年しかないので、着実に進めていくために、行政だけがまちづくりを進めていくわけではなく、住民自身が「みんな事」として捉えられるかが大切である。</p> <p>私は、国際系の学部にて在籍しており、様々な価値観をもつ人と日常的に触れ合っている。日本人は多様性という考え方が苦手であるが、多様性こそが力であると考えている。様々な意見があり、それぞれの意見は、各々の立場から重要なものである。総合計画の中にすべてを取り込めなかったとは思いますが、議論のプロセスで出た意見については個別計画に反映してほしい。</p>
町長	<p>ありがとうございました。会長からもあったが、多様性は重要である。すべての意見を1つにまとめるのは難しいが、臆することなく多くの意見があったのはよいことである。</p> <p>「まちづくりは人づくり」とあるが、そのとおりである。一人ひとりがまちを作っている。まちの課題を「自分事」にして、それを「みんな事」にしていけるか。だからといって皆が同じことをする必要はなく、各々ができることを、多様性を考えながら実</p>

	<p>行していく必要がある。</p> <p>全体としてよいということだが、指摘のあった部分もあるため、改めて間違いを精査していく。そして、議会へ上程していく。</p> <p>人口については皆さんの関心が高かった。20年後は人口が減少することを前提に、減少してもやっていける状態を描くのは難しいことであると皆さんも感じたと思う。その中で、表現について議論もあったが、我々としても短期的には今の規模を保っていくのは重要であると思う。</p> <p>コンパクトというところでいうと、東浦でいうコンパクトは限られたエリア、具体的には駅周辺だが、そこに市街地を作っていく、そしてそこからは広げないことが重要である。その範囲内に成長の余白を作っていく、そのような事を土地利用構想図の中に盛り込んだ。東浦町の市街地の人口密度は県内でトップクラスである。今の市街地の人口密度をもう少し疎にしても、ゆとりのあるまちづくりができるのではないかと思う。</p> <p>今後とも、よろしくお願ひしたい。</p>
--	---

閉会

事務局	(閉会)
-----	------

以上